

見本

領収・明細書

※医療機関等によって様式（名称）が異なります。

発行日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

医療法人〇〇会

医療機関名 〇〇〇産婦人科医院

医療機関所在地 東京都中央区日本橋小網町〇〇

患者 ID × × ×
コウ ハナコ
氏名 興亜 花子
生年月日 平成 〇〇年〇月〇日

- ① 出産年月日 令和 〇〇年〇月〇日
- ② 出産児数 1 人
入院日数 7 日
- ③ 直接支払制度 対象
- ④ (※) 明細書の内容は専用請求書と相違ありません

⑤ 「産科医療補償制度の対象分娩です。」

出産日・出産児数は必ず表示が必要です。
※表示が誤っていた場合は医療機関等に訂正を依頼してください。（訂正後の領収明細書の添付が必要です。）

産科医療補償制度の加入機関で「妊娠 週数 22 週以降」の出産である場合「**産科医療補償制度の対象分娩です。**」の文言が、印字やスタンプにより明記されます。この文言があることにより R5 年 4 月 1 日からは「48 万 8 千円+1 万 2 千円= 50 万円」が給付されます。妊娠週数 22 週以降の出産であるのにこの文言がない場合は、医療機関等にご確認ください。
※別の書類領収書等に明記されている場合があります。その場合は、文言が明記された領収書等のコピーも合わせて添付してください。また、旧文言で「産科医療補償制度加入機関」と印字やスタンプにより明記されている場合もあります。

明細内訳

入院料	室料差額	分娩介助料	分娩料	新生児管理保育料	産科医療補償制度
103,010	0	—	184,300	60,000	12,000

検査・薬剤料	処置・手当料	その他	一部負担金		
3,320	0	9,190	17,180		

合計内訳

妊婦合計負担額	代理受取額
⑥ 389,000	389,000

【領収・明細書について】 ①～⑥が確認できるものに限ります。
① 出産年月日
② 出産児数
③ 直接支払制度の利用有無についての記載（産科医療補償制度の掛け金 1 万 2 千円の記載）
④ 専用請求書と相違ない旨が明記されていること。
⑤ 産科医療補償制度の制度加入機関での出産の場合は、「産科医療補償制度の対象分娩です。」の文言が、印字またはスタンプで明記されていること。
⑥ 代理受取額（差額がある場合は、差額と付加給付金があわせて支給されます。）